
 記 事

例会記録

日本医史学会 3 月例会

平成 31 年 3 月 23 日 (土)
 順天堂大学 センチュリータワー北 306

1. 江戸時代の「病家」と「看病」
 ——『病家要論』と『病家心得草』を中心として
 平尾真智子
2. 現代の医学・医療と医史学
 ——日本医学会公開シンポジウム「遺伝学用語
 のあり方について」から 坂井建雄

日本医史学会 6 月例会

令和元年 6 月 22 日 (土)
 日本医科大学同窓会館 橋桜会館
 座長：志村俊郎

1. 長谷川泰と伝染病研究所移転問題
 ——後藤新平宛て書簡を中心に—— 都倉武之
2. 長谷川泰再評価 殿崎正明

例会抄録

映画『夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の 100 年』

——特別試写会・解説——

岡田 靖雄

日本精神病学の金字塔である呉秀三・樫田五郎の「精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察」は 1918 年『東京医学会雑誌』に掲載され、4 回の連載のおわらぬうちに内務省衛生局は同論文を(ごくわずかな修正をくわえて)『精神病患者私宅監置ノ実況』の題で 100 部印刷配布した。

今年はこの刊行から 100 年にあたるのを記念して日本精神衛生会およびきょうされんが、この映画を製作した。日本の当時の現状を「此邦ニ生レタルノ不幸」とはげしく批判した呉のおいもとめ

ていたものが、100 年後の今実現されているのか。呉の生涯をつたえとともに、きわめておもしろい問いを発している映画である。66 分のこの映画には岡田が主演し、当学会会員の橋本明も何回かである。かなり好評で、きょうされんを中心に、家族会ほかにより上映運動がすすめられている。

例会では、特別試写会としてこれを上映し、岡田が解説した。

(平成 30 年 11 月例会)